

WPS(女性、平和、安全保障) コロキアム

音楽がつなぐ平和とジェンダー —ウクライナからの祈り—

日時: 11月4日(火) 10:20-11:50

場所: 宇都宮大学 峰キャンパス

大学会館2階 多目的ホール

●オンライン参加希望は以下フォームよりお申込みください

<https://forms.gle/frBKfdW8V7dk39fN8>

対面
オンライン
同時開催

日本国際フォーラムが行っている外務省WPSプロジェクトの一環として、ウクライナ出身のバンドウーラ奏者カテリーナ氏を迎え、音楽を通して平和とジェンダーの関係を考える特別コロキアムを開催します。政策・学術・芸術の対話を通じて、WPSの理念を共に学び感じませんか。

プログラム (敬称略)

開会挨拶	宇都宮大学国際学部長 日本国際フォーラム理事	中村真 高畑洋平
講演	バンドウーラ奏者・歌手	Kateryna

ワークショップ・フロアディスカッション

コメント	宇都宮大学国際学部教授 宇都宮大学国際学部准教授	清水奈名子 松村 史紀
演奏	バンドウーラ奏者・歌手	Kateryna
閉会挨拶	宇都宮大学多文化公共圏センター長	高橋 若菜



ウクライナ民族楽器バンドウーラ奏者・歌手 Kateryna (カテリーナ) 氏

ウクライナ・プリピャチ生まれ(チェルノブイリ原子力発電所から2.5km離れた町)

生後30日の時にチェルノブイリ原発事故に被災し、一家は町から強制退去させられる。6歳の時にチェルノブイリ原発で被災した子供たちで構成された音楽団「チェルボナカリーナ」に入団後、海外公演に多数参加。日本にも何度もコンサートに招聘され、その時に日本の素晴らしさに感動し、19歳の時に音楽活動の拠点を東京に移す。

現在、日本に数少ないバンドウーラ奏者の1人として、国内外のさまざまなコンサートで公演活動を展開中。

主催: 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター(UU3Sプロジェクト)

国際学部 ジェンダー論 公開授業

公益財団法人 日本国際フォーラム、グローバル・フォーラム

協力: 日本の強みを生かした『女性・平和・安全保障(WPS)』における貢献の在り方 研究会
(外務省外交・安全保障調査研究事業)

問合せ: 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター(平日10-16時) 宇都宮市峰町350

TEL: 028-649-5196・5228